

**平成 29 年 8 月 15 日**

**平成二十九年 全国戦没者追悼式式辞**

天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国戦没者追悼式を、ここに挙行致（いた）します。

先の大戦において、三百万余の方々が、祖国を想（おも）い、家族の行く末を案じながら、苛烈を極めた戦場に斃（たお）れ、戦禍に遭われ、あるいは戦後、遠い異郷の地で命を落とされました。いま、その御霊（みたま）の御前（おんまえ）にあつて、御霊安かれと、心より、お祈り申し上げます。

いま、私たちが享受している平和と繁栄は、かけがえのない命を捧（ささ）げられた皆様の尊い犠牲の上に築かれたものであります。私たちは、そのことを、ひとときも忘れることはありません。改めて、衷心より、敬意と感謝の念を捧げます。

戦争の惨禍を、二度と、繰り返してはならない。

戦後、我が国は、一貫して、戦争を憎み、平和を重んずる国として、ただひたすらに、歩んでまいりました。そして、世界の平和と繁栄に力を尽くしてきました。私たちは、歴史と謙虚に向き合いながら、どのような時代であっても、この不動の方針を貫いてまいります。

未（いま）だ、争いが絶えることのない世界にあつて、我が国は、争いの温床ともなる貧困の問題をはじめ、様々な課題に、真摯に取り組むことにより、世界の平和と繁栄に貢献してまいります。そして、今を生きる世代、明日を生きる世代のため、希望に満ちた明るい未来を切り拓いていく。そのことに、全力を尽くしてまいります。

終わりに、いま一度、戦没者の御霊に平安を、ご遺族の皆様には、ご多幸を、心よりお祈りし、式辞といたします。